

渋川駅開業100周年記念展 写真やエピソードで振り返る100年の歩み



6月23日から7月16日までの間の18日間、市役所本庁舎と第二庁舎で「渋川駅開業100周年記念展～人々と共に歩んだ100年の記憶～」が開催されました。会場では、募集した渋川駅に関する思い出の写真やエピソードのパネルのほか、渋川駅から借用した資料などを展示。期間中に1,200人以上が来場し、それぞれの記憶の中にある渋川駅の姿を振り返っていました。



子持公民館の楽笑健康教室 楽しみながら笑顔で健康づくり



7月9日に子持社会体育館で、通年開催されている楽笑健康教室(昼の部)が行われました。老化の予防を目的とした全身運動を行うもので、22人が参加。参加者は、脳トレを加えた体操やパイプ椅子での筋トレ体操、有酸素運動など、体の部位を意識した運動を笑顔で楽しみました。

ランタン祭りin小野上 地域を照らす800の灯り



6月20日に小野上公民館周辺で、第6回ランタン祭りin小野上が行われました。生涯学習おのがみチームが主催し、当日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ランタンの点灯のみ実施されました。並べられた約800個のランタンが点火されると、会場は幻想的な雰囲気になり、地域を照らしていました。

令和3年度「市民環境大学」 食べ物のムダをなくそう

6月27日中央公民館で、令和3年度第1回の「市民環境大学」が開催されました。今回のテーマは「食品ロス」。日本では、おにぎりに換算して、毎日1億個分の食品が捨てられています。講義では、「作りすぎ」や「買いすぎ」などの食品ロスのタイプが紹介され、参加した40人は、自分の家庭がどのタイプに当てはまるかを確認していました。



渋川地区いきいきフェスタ2021 フレイルを知って心も体も健康に



6月27日に市役所第二庁舎で、渋川地区いきいきフェスタ2021が行われました。いきいきフェスタ実行委員会が主催し、協力団体がフレイルの予防や早期発見に関連する各種測定や体操の実技などを企画。参加者は、健康に暮らすために栄養と運動、社会参加を生活に組み入れることの大切さを学んでいました。



ヒメギフチョウ保護パトロール 貴重なチョウを後世につなぐために



6月6日に赤城町北赤城山地区で、ヒメギフチョウ保護パトロールが行われました。ヒメギフチョウは、関東地方では市内の一部にのみ生息する貴重なチョウで、県の天然記念物です。当日は高校生も参加して遊歩道周辺の倒木や浮き石等の危険箇所の確認や動植物の観察などを行いながら、パトロールを行いました。

赤城公民館とんぼ玉作り教室 ガラスの魅力詰まった飾り玉作り



6月24日に赤城公民館で、とんぼ玉作り教室が行われました。色ガラス棒をバーナーの炎で溶かしながら、鉄の棒に巻き付け、丸く形作ります。模様付けの作業は左右の手の動きが異なり、参加者はとまどいながらも慎重に制作していました。8人が参加し、多彩なガラスを組み合わせてとんぼ玉を2個作成しました。

橘陰塾郷土づくり講座 北橘の歴史と文化を学ぶ

7月6日に北橘公民館で、郷土づくり講座が行われました。全3回講座の1回目は、旧石器時代から室町時代までの歴史をたどる講義です。参加者は地図を確認しながら、遺跡や出土品から読み取れる人の流れや文化などを興味深く聞き入っていました。13人が申し込み、第3回では、実際に北橘地区内の各所を訪ねる予定です。



オリジナル絵皿を作る「レタリング教室」 完成が待ち遠しい自分だけの絵皿



7月10日に金島ふれあいセンターで、市青少年育成推進員連絡協議会主催のレタリング教室が開催されました。小中学生170人が参加して、絵皿の下絵描きに挑戦。この日描いた絵はお皿に写されて、オリジナルの絵皿が完成します。子どもたちは、動物や家族など、思い思いの絵を仕上げ、絵皿の完成を楽しみにしていました。



渋川青翠高校家庭クラブ 交通安全を願いマスコット寄贈



7月7日に渋川警察署で、渋川青翠高校家庭クラブによる交通安全啓発マスコットの寄贈式が行われました。また、警察署から家庭クラブへ18年間に渡る寄贈に対して感謝状が贈られました。同日、ベイシア渋川店での交通安全啓発活動に生徒たちが参加し、来店者へ呼び掛けを行いながらマスコットを配布しました。

第一保育所で食育の紙芝居 バランス良く食べて元気に過ごそう



7月13日に第一保育所で、食に関する紙芝居が行われました。読み聞かせを行ったのは、市こども課の管理栄養士。紙芝居の後に、おいしく食べることの大事さと、食べ物に含まれる栄養と効果などを説明。参加した年長組の16人は、好き嫌いなく、バランス良く食べていることを元気に教えてくれました。

古巻公民館の高齢者学級「慶寿大学」 開講初日は「人体・骨のはなし」

7月15日古巻公民館で、令和3年度高齢者学級「慶寿大学」の開講式が行われました。初回の講義は、「人体・骨のはなし」と題して、元放射線技師の角田尚士さんが、人間の骨の仕組みや動きについて説明。参加者は、X線写真の画像を使った骨の解説や、骨粗しょう症の発症する仕組みなどの話に、興味深く聞き入っていました。

